

なかしべつ 議会だより

No.116
平成30年1月



第97回全国高校ラグビー大会でベストマーチング賞を受賞した中標津高校ラグビー部

**12月定例会、一般質問に9人10問
平成28年度各会計決算を認定**

主な内容 12月定例会 2・決算審査特別委員会 4・一般質問 5～9

12月定例会



議会モニターや計根別学園の子どもたちが傍聴に来てくれました
平成29年12月定例会を12月11日から15日まで開催、以下の議案について審議し、議決しました。

■平成29年度各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第6号）

6億1,145万円を追加し、総額142億3,732万6千円となりました。

主な使いみち	・北海道自治体情報システム協議会負担金	361万4千円
	・泉団地建設事業	6億1千万円
	・小・中新入学児童生徒学用品給与費	306万1千円

☆以下の補正予算は人事異動による人件費等調整及び人事院勧告に基づく給与改正が主な要因です。

- ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ・町営牧場特別会計補正予算（第2号）
- ・下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ・簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- ・水道事業会計補正予算（第1号）
- ・病院事業会計補正予算（第2号）

■条例の一部改正

◇特別職の職員の給与に関する条例及び中標津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 他2件（人事院勧告に基づく改正）

一般行政報告

一、地域高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会の要請活動について
11月30日関係各庁をへじめ地元選出国会議員に対し早期整備について要請を行いました。

二、中標津空港利用促進期成会の要請活動について
10月20日FDA（フジドリムエアラインズ）本社を訪問し来年度の運行継続を、11月24日に全日本空輸株式会社北海道支社、11月30日東京本社に対し「中標津空港の利用促進に関する要望」として、乗り継ぎの利便性向上と東京便中型機の運航期間確保など要請を行いました。

三、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の要請活動について
9月12日大塚外務省欧州局日露共同経済活動推進室長、9月22日中根外務副大臣が来町時に開催された要望会において、予算の確保、事業の拡充など要請を行いました。
12月1日には「北方領土返還要求中央アピール行動」として、全国の返還運動関係者と共に東京都心部での街頭PR行進参加後、安倍総理大臣・河野外務大臣を訪問し北方領土問題の早期解決を議長と共に要請しました。

四、北方領土隣接地域振興航空路線誘致促進期成会の要請活動について

10月12日ピーチエアライン（株）の森副社長を訪問、9月6日に開催した講演会のお礼と今後の誘致活動への協力を要請、10月30日には大阪府のピーチ本社を訪問、期成会のピーチ就航誘致委員会とともに「ピーチ利用促進のための提案書」を提出しました。

五、医師確保対策に係る要請活動について
10月23日北海道大学、10月30日北海道東京事務所と川崎市病院協会に対し、町立中標津病院の現状と診療体制を報告、地域医療が抱える課題等について意見交換を行い、医師の派遣等について要請しました。

六、道立林業大学校誘致に係る要請活動について
10月27日管内1市4町の他、森林組合、林業関係団体、民間企業等で組織する「道立林業大学校・根室管内誘致期成会」が中標津町長を会長として発足しました。
11月24日北海道水産林務部長に、12月4日に釧路管内7町村も構成員に加わり、北海道副知事に対し根室管内への学校設置を要請しました。

七、寄贈金品について
6月定例会後、現金で2件40万円、物品等で3件、ふるさと納税で65件1千189万円の寄附が寄せられました。

八、作況状況について
各作物の生育状況はおおむね良好で、生乳の生産状況に

教育行政報告

一、芸術文化振興事業について

総合文化会館と交流センターで、それぞれ「芸術文化祭」が開催され、芸能発表会・合同華展・お茶会・総合展覧会など日頃の活動成果を披露していた。また、関連事業として中標津書道公募展・なかしべつ美術展なども開催しました。11月3日の「しるべつ」まつりにはバザー・陶芸・手品・ニースポーツなど出品披露し、計根別地区においても、フオークダンス発表会・将棋大会・菊花展・新そば祭りが開催され、たくさんの来場者を楽しんでいただきました。

九、地方版図柄入りナンバープレートについて

11月8日「知床・地方版図柄入りナンバープレート導入検討協議会」として北海道に対し「地方版図柄入りナンバープレート導入意向表明書」を提出しました。今後、町民と合意形成を図り平成30年3月申請、7月の導入決定、平成32年度交付開始を目指します。

ついでには10月末現在、昨年同期と比較して約1千750t（1.6%減）ですが、8月以降は前年数量に近づいており、今後の生産量に期待しております。

二、各種大会等の出場結果について

●9月2日札幌市で開催の「第84回NHK全国学校音楽コンクール北海道ブロックコンクール」にて、中標津小学校ジャガーズ合唱部が銀賞、広陵中学校音楽部が奨励賞を受賞しました。
●9月16日札幌市で開催の「第68回北海道合唱コンクール」において広陵中学校が銅賞を受賞しました。
●8月9日旭川市で開催の「北海道学校農業クラブ連盟技術競技大会」に参加した中標津農業高校は、10月26日岡山市開催の全国大会に出場し、食品科学・園芸部門において健闘してまいりました。
●11月16日釧路市で開催の「第52回全道高等学校郷土研究発表大会」において農高太鼓局が奨励賞を受賞しました。

三、中学生議会の開催について

11月1日中標津町議会議事堂において、約50名の傍聴者が見守る中、今年で5回目となる「中学生議会」が開催されました。
10名の中学生議員から「他校との交流」「糞尿の臭い対策」「ゴミ問題」などの質問を受け、町長と教育長が現在の状況や取り組み課題について答弁しました。
本町の将来を担う中学生の思いを直接聞くことができ大変有意義なものでした。

みんなの声を国政に 意見書

議員から下記意見書案が決議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

北海道の酪農・畜産の安定経営に関する意見書（抜粋）

提出者 瀬波 秀人 議員
広大な北海道の酪農地帯、特にわが中標津町が位置するひがし北海道においては、地域コミュニティを維持するための基幹産業として、中小規模の酪農経営をいかにして次世代につないでいくかが重要な課題となっており、こうした視点を取り入れた生産基盤の強化策が求められています。

また、TPP協定や、日欧EPA交渉などによって、我が国の牛肉・豚肉や乳製品市場はこれまでになく高い水準の自由化が迫られています。

ついでには、国民の基礎的食料の一つである牛乳・乳製品及び畜産物の安定供給、地域経済・社会を支える酪農・畜産の持続的な発展を図るため、未来を切り拓く生産現場に寄り添った酪農・畜産政策の推進に必要な予算措置に努められますよう、強く要望します。

広域連合・一部事務組合の議会報告

12月8日開催

根室北部廃棄物処理広域連合

（構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町）

- 平成28年度一般会計決算認定
歳入総額 9億2,361万7千円
歳出総額 9億 99万3千円
差引残額 2,262万4千円
- 専決処分の承認

中標津町外2町葬斎組合

（構成町：中標津町、別海町、標津町）

- 平成28年度一般会計決算認定
歳入総額・歳出総額いずれも5,001万7千円
- 平成29年度一般会計補正予算
49万5千円を減額し、予算総額6,126万6千円
- 専決処分の承認

根室北部衛生組合

（構成町：中標津町、標津町、羅臼町）

- 平成28年度一般会計決算認定
歳入総額 9億1,379万2千円
歳出総額 9億1,195万5千円
差引残額 183万7千円
- 平成29年度一般会計補正予算
479万8千円を減額し、予算総額3億3,307万円
- 継続費精算報告書の報告

根室北部消防事務組合

（構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町）

- 平成28年度一般会計決算認定
歳入総額・歳出総額いずれも16億9,996万4千円
- 平成29年度一般会計補正予算
436万8千円を減額し、予算総額16億6,859万7千円
- 職員定数条例の一部改正（別海町分）他

決算審査特別委員会報告

審査期間 平成29年9月15日～11月6日まで

審査結果

平成28年度中標津町一般会計外8会計の決算について、各委員より50件の質問を受け慎重に審査した結果、厳しい財政状況の中、各会計とも効率的な予算執行が行われ、町民生活の向上が図られていることに敬意を表します。

しかし、各会計の審査過程においては、研究・検討すべきこと、さらに個別に改善や創意工夫すべき事項もありましたので、特に次の点に留意して、今後の行政執行にあたっていただきたい。

財政状況について

総合体育館建設等大型建設事業の実施に伴い、一般会計の町債の年度末現在高は、対前年8億8千528万9千円増の181億6千941万7千円となっています。

また、人件費、扶助費、公債費等経常経費へ充当する町税等経常一般財源収入の割合により、財政構造の弾力性を判断する指標である経常収支比率では、対前年1.7%増の94.9%となっており、道内の比較では、平成27年度決算で179市町村中168

審目となっています。

財政硬直化の進行を抑制し、今後とも堅実な財政運営に努められ、経常収支比率が改善されるよう強く望みます。

歳入

収入未済額を生じた歳入の収納率は、一般会計・特別会計いずれも前年度より上回っており、継続的に向上しています。

とりわけ町民税、国民健康保険税、町営住宅使用料など未収額は着実に改善されており、コンビニ納付や納期数増の周知定着、職員の丁寧な対応など、収納率の向上に努めたこれまでの取り組みを高く評価します。

また、釧路・根室広域地方税滞納整理機構による滞納処分の実施は、滞納額の縮減と納税意識の改善に相당한効果が認められることから、同機構への参画を継続し、更なる滞納額の縮減を望みます。

1. 歳出

病院企業会計について
病院企業会計では、一般

会計からの繰入金が15億2千856万5千円で、昨年より7千16万7千円(4.4%)減少してはいるが、初めて6千622万6千円の資金不足額が生じています。

整形外科常勤医師が1名体制となったことなどによる入院収益の減や、患者数も連続して前年度を下回る状況が続いているなど、依然として厳しい病院運営を強いられています。

今後、住民の一層の信頼を目指し、医師確保や病院改革プランに基づいた効率的な経営を図り、地域センター病院の役割を果たすようさらなる努力を望みます。

2. ふるさと応援制度推進事業について

ふるさと応援制度推進事業は、平成28年9月から返礼品を開始し、ふるさと納税の件数、金額が大幅に増加しました。

これに伴い、平成29年度から従来の寄附金の使途から、当町の「思い」が寄付者に伝わる寄附金の使途に見直しが行われています。

現在、自治体間での寄附金をめぐる返礼品競争が指摘されていますが、返礼品に限らず、インパクトが

あり柱となる事業への使途を積極的にアピールするなどの施策の検討を望みます。

3. 魅力発信交流事業について

平成27年度から開始された事業で、町外の大学生を招き町の魅力をアピールし、また町内の小中高生や住民との交流活動であり、交流人口対策につながる大事な事業と思います。

現在は、町職員による企画運営となっていますが、関係団体等にも働き掛けるなど、事業継続と拡充に向けた対策を望みます。

4. 環境林整備事業について

森林伐採後の造林については、持続的、安定的な供給の観点から、カラマツ等の針葉樹が主になっています。

森林の多様性や豊かな土壌の醸成には、広葉樹の役割が大変重要となっていますので、エゾシカの食害対策の問題もありますが、効果的かつ効率的な対策を研究し、混交林としての整備を望みます。

5. 公営住宅について

平成28年度末の入居状況

によると、西町に平成14年及び15年で建設された、中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅が10戸の内1戸の入居に止まっています。

民間の賃貸住宅の状況や他の公営住宅の入居希望の状況などを勘案し、低所得者向けへの用途変更なども視野に入れた効率的な運営を望みます。

以上、審査意見として述べましたが、平成28年度中標津町各会計決算について、認定すべきこの結論に達しました。

決算審査特別委員会

委員長 水石 幸衛



町政を問う ここが聞きたい

12月定例会では9人の議員
が10問の質問をしました。
理事者からそれぞれ答弁が
ありましたので要約して掲載
いたします。

Q 「子どもの未来を応援する首長連合」
について

A 参加は管内自治体との連携も考慮して
考えます



佐藤 武志 議員

とです。

「首長連合」は昨年設立され
たばかりで、各自治体も取り組
みを始めたばかりです。

就学援助制度を所管する町教
委とも協議し、参加への検討を
して下さい。

質 問

全国179の市区町村長が参加す
る「子どもの未来を応援する首
長連合」の総会が開かれ、子
どもの貧困対策の充実を国に求め
る提言をまとめました。

提言では、子どもの養育環境
を改善するための①母親が妊娠し
た時点から子どもが就職するま
での支援制度の構築②制服代や
給食費といった私費負担の軽減
などを図るよう訴えています。

「首長連合」の目的として、
地域の活性化を図りつつ、貧困
の連鎖を断ち切り、子どもたち
の明るい未来の実現を計るもの
です。

活動内容として、国への要請、
産業界・大学・NPO等と協力
体制の構築、市区町村相互の情
報交換・実践交流を推進するこ
とです。

町長答弁

子どもの貧困対策を進めるこ
とは各自治体が教育、福祉、労
働等の施策を有機的に組み合わ
せ、地域の力を発揮していくこ
とが必要不可欠であります。

北海道では7市町村、近隣で
は根室市、標茶町が加盟してい
ますが、加盟率が低いのは「貧
困」というテーマが、教育・福
祉等広範囲で、支援メニューも
多岐にわたり難しいといった点
が考えられると言われています。

「子どもの未来を応援する首
長連合」への参加ですが、国、
道からの情報提供、当町が行う
貧困対策についての各種調査、
施策を行う中で、管内、近隣市
町村との連携も考慮してまいり
ます。

Q エゾシカの被害状況とその対策について

A 猟友会と連携し、担い手確保の取り組み
を検討します



宗形 一輝 議員

質 問

エゾシカによる農業被害とし
て、中標津町では例年どのくら
いの被害が報告されています
か。

また、エゾシカを駆除したこ
きに町から報償金が支払われま
すが、ハンターで実際に活動さ
れている方が14人で、平均年齢
が65歳と高齢化し、だんだん主
力メンバーが減っていく中、町
として今後どのような対策をし
ていくのでしょうか。

町の有力な特産物としてエゾ
シカを活用し、中標津に來たら
おいしいシカ肉が食べられると
なれば、全国各地からシカ肉
ファンに足を運んでいただける
チャンスがあります。

農作物の被害の減少、シカ肉

の有効活用ができるよう、今後
も町と議論していきたいと思
いますがいかがでしょうか。

町長答弁

農業被害額につきましては、
過去5年間9千万円前後で推移
しており、横ばい傾向にありま
す。

町では現在、鳥獣被害対策実
施隊員報酬として1人年額4千
円を支給し、エゾシカ1頭につ
き、5千円の報償金を支出して
います。

引き続き駆除活動を支援してい
くこともに猟友会と連携を図
り、担い手確保の取り組みを検
討してまいります。

次に有効活用ですが、これま
でフォーラムや試食会を実施し
たほか、地域雇用創造協議会に
おいてもエゾシカホエーカツの
モニター提供を町内飲食店で実
施し好評を得たところです。

おいしいエゾシカ肉をアピー
ルすることも被害対策として有
効かつ重要と考えており、対策
を進めてまいります。

町政を問う

ここが聞きたい

Q 道立林業大学校の誘致活動と住民周知について

A 釧路根室管内全体の周知・理解が急務です



高橋 善貞 議員

中標津町長を会長とする「林業大学校・根室管内誘致期成会」が10月27日に発足しました。

道内の誘致期成会を調べてみると、すでに林業を基幹産業としている自治体や、道立の林業関係の研究施設・試験場と近接した6団体が、林産業の歴史や地域性をアピールし、積極的な誘致活動を展開しております。

スタートが遅れた根室管内にとつて非常に厳しい誘致活動となりますが、今日まで期成会として根室管内の住民に対し「道立林業大学校の必要性」について何も周知されておりません。

産官学が一体となった林業による地域活性化を目指すべきであり、行政主導での誘致活動はすべきではありません。

森林面積が55万ha全国1位で、2位岩手県の5倍の面積を誇る北海道は、どう考えても林業大学校1校では成り立ちません。

平成30年度の誘致活動にむけて、具体的な活動計画を策定し、必要な予算を確保した上で、根室管内全ての住民に理解される誘致活動を目指すべきではないでしょうか。

町長答弁

11月24日、北海道への要望書提出の新聞報道後に、たくさんの方々から激励のお言葉をいただきましたが、新聞等の掲載だけでは町民や根室釧路管内の方々への周知が万全であるとは思っておりません。

住民周知と機運の醸成が急務であり、既存の出前講座に林業大学校の説明を加えるほか、町広報誌での住民への周知を図るなど、根室釧路管内の皆さんと林業大学校を誘致する共通の意識を高め、取り組んでまいります。

Q 「やすらぎの得られる」町立病院に

A 患者中心のチーム医療を推進します



黒川 静夫 議員

質問

病院の改革プランに大いに期待をしているところですが、なによりも「チーム医療」が徹底され、だれでもが対応してくれる、他のスタッフにも話がしっかりと通じていることが重要と考えます。

患者の要望事項を共有できるようになれば、院内の雰囲気改善されると思います。

混み合っている外来の窓口では、呼び出されても聞こえない人や、トイレで不在だった場合などもあるので、番号を使う方法や、黒板のようなもので知らせるなどの方法も検討してみ

はどうかでしょうか。

また、車椅子の女性患者で、付き添いが男性の場合など、検尿の際にトイレ内に容器を置く台も、また容器のフタもなく困っているので患者の身になったこの配慮が必要ではないかと考えます。

町長答弁

予約の方には受付番号がない状況であり、どのように揭示するのがわかりやすいのか運用方法についても検討してまいります。

車椅子での検尿に関しては、これまでは希望される方にフタを配布しておりましたが、これを機に求められなくてもフタを配付する取り扱いとするなど可能なことは実行し、患者の容態や状況に応じた対応を今後も行つてまいります。

町政を問う

ここが聞きたい

Q 公営住宅の管理について

A 適宜、適正に判断し対応したい



佐野弥奈美 議員

質問

以前、公営住宅の指定管理者に向けた研究についての質問をしましたが、その後どうなったのかお聞かせ下さい。

公住を新しく建てるため、別の公住に住み替えをする際、改めて契約が必要となり、連帯保証人（以下、保証人）に関する書類もありますが、高齢者の場合、今までの保証人も高齢となっており、再度なれないという状況になっています。

最近では保証人になりたがらない場合も増えており、保証人探しが困難になってきている中、個人都合による住み替えではないことから、これまで遅延などの問題がない方たちに、特

例等ならんかの形で調査・研究の必要もあると思います。

町長答弁

指定管理者制度導入については、個人情報管理、住宅セーフティネット上、行政内部の横断的な連携が必要であり、現時点では直営管理の方が早急な対応ができるかと判断しています。が、今後も他市町村の状況を見ながら調査研究してまいります。

公営住宅の建替計画により、新たな団地等に住み替える場合、改めて、保証人の連署する請書を提出いただいておりますが、入居者及び保証人が高齢者であることから、保証人が見つからない状況の事例も出ています。

その事情を聞き取った中で、家賃の収納状況を確認の上、特に問題のない入居者については、適宜、適正に判断し対応したいと考えています。

Q わかりやすい町内デジタル地図の作成について

A 利便性を向上し充実させます



飯島 実 議員

質問

町の全体像を直観的につかめるデジタル案内図を公式ホームページに使い、高齢者にもわかりやすいものにする必要があると考えます。

バスの全路線を表示し、各停留所のアイコンから時刻表にリンクすれば乗換時間を調べられ、各路線バスがさらに有効に利用され、交流人口の増加や高齢者の外出の機会の増加にも寄与すると思われれます。

町長答弁

全ての部門で情報を一元化し、相互に活用できるようにし、交通・施設・観光・史跡などのデータをリンクさせ、旅行者や高齢

者にとっても利便性の向上が図られるように調査研究し、さらに充実したものにしてまいります。

Q 北海道・命名150年記念事業について

質問

北海道命名150年にあたり当地域でも何か検討、準備していることがあるかどうかを伺います。

松浦武四郎が残したこの地域に関連する地図や絵、言葉について、この機会に深く研究し、記録、展示していただきたい。格子状防風林は、空から見える北海道開拓150年の成果物であり、世界が注目するような展開を期待したい。

教育長答弁

「松浦武四郎に関する巡回パネル展」として、旧斜里山道に関する情報を含めた企画をしています。

公開方法は、最適な方法を調査研究します。

町政を問う

ここが聞きたい

Q 高齢者の健康増進と戦略的投資について

A 現在の施策をさらに充実して対応します



松村 康弘 議員

質問

先般老人クラブ連合会の皆様と懇談する機会を得ました。

老人クラブの活動は、町内会に参加していた高齢者が自ら、コミュニティ組織を形成し、麻雀・カラオケ・囲碁・将棋・小旅行など、自ら企画して楽しむ、認知症予防に関して支える側のマンパワーを必要としない、最も効果的な活動ではないでしょうか。

この運営を行政として積極的に支えるための費用は、急激に増大を続ける要介護・要支援の費用と比較すると実に微々たるものではないでしょうか。

参加者が減少している昨今、ぜひ戦略的対応を講ずるべきと考えますがいかがでしょうか。

町長答弁

老人クラブの参加人数の減少に関して、連合会から陳情を受けています。

老人福祉施策全体を通して支援のあり方を考えてまいります。特に要望の強い事務局スタッフの強化については社会福祉協議会に負っているところですが、不足を町民生活部でも補うことや、小旅行・研修の際に必要とされるバスの借り上げについて、もっと助成のあり方を工夫して、応援していきたいと考えます。

又、なかなか健康なかしべつものさらなる充実を求め、特典（景品）を進呈することを拡充し、多くの町民に運動習慣のきっかけになるような内容を提供できるような充実を図ってまいります。

Q 当町における産後ケア事業の展望について

A 保健センターと病院との間で検討を開始しました



江口 智子 議員

質問

当町の人口は、平成27年の国勢調査以来減少し続け、年間250件前後だった出産件数は、平成29年12月現在で200件ほどの見通しです。

超高齢化社会を支える若い世代を応援する施策のひとつとして、北欧フィンランドの「出産・育児にわたってトータルに相談できる場」という意味の「ネウボラ」をモデルとして、厚労省では、子育て世代包括支援センターの設置促進とあわせて、産前・産後サポート事業や産後ケア事業についても、一体的に拡充を目指しています。

近くは釧路町が主体となって平成27年に、産前・産後ケア事業をスタートさせています。

お産はゴールではなく、育児という大変な中にもやりがいのあるキャリアのスタートであり、当町においては、保健師が産前・産後に渡って妊産婦と関わり問題を抱えているケースには対応していますが、さらに一歩踏み込んで、産後ケア事業を町立中標津病院の空き病床を利用して開始してはいかがでしょうか。

町長答弁

核家族化が進行した現代において、様々な事情により出産直後に十分な援助を受けられずに不安を抱く産婦が少なからず存在することから、現在、保健センターと町立中標津病院との間で「産後ケア事業」の実施の可能性について検討を開始しております。

今後、具体的な方向性が固まり次第、お伝えしていくこととしておりますので、ご理解をお願いいたします。

町政を問う ここが聞きたい

Q 介護人材確保育成支援について

A 介護職員の確保育成に努めます



柳 信 議員

質問

介護に携わっている家族の悩みや不安を互いに共有し、発散する場を設けると共に、介護について学び、情報交換を行うことで、介護者が心身の健康を保ち、より良い介護生活を続けていけることを目的とする会があります。

必要とされて生まれた会だと思います。

今後増加する要介護者に、必要な職員数が十分であるのか、今までの介護サービスが受けづらくなるのではないかとこの不安が生じております。

介護人材確保育成支援による資格取得に数年もかかりますが、今後の町にとって介護有資格者は大切な財産だと思います

ので、継続して事業の実施をすべきと思いますが、お考えを聞かせてください。

町長答弁

本町の高齢化のピークは2041年と推計されております。今後、増加する介護者に十分なサービスを提供していくためには、介護職員の確保が重大な問題となっております。

本町では、介護職員の人件費等に補助を行っており、本年からは町内で受講できる介護福祉士実務者研修を開催しました。実務者研修受講と3年の実務経験が必要となり、ケアマネジャーの資格取得にはさらに3年の実務経験が必要となります。

有資格の介護職員を確保・育成していくことは、事業所や介護職員の給与、待遇の向上につながることから、継続して研修事業を実施し、介護職員の確保・育成に努めてまいります。

平成29年度根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会研修会

研修会は、10月30日中標津町で開催されました。当日、根室市は本会議、羅臼町は交通状況で欠席のため、出席議員は29名でした。

研修内容は木育マイスターの柴田さんによる「地域振興と活性化」と題した講演のあと、森林整備加速化・林業再生事業補助金を活用した中標津町児童センター「みらいる」の現地視察を行いました。

(佐藤 武志 議員)



カラマツ集成材を活用している児童センター「みらいる」

平成29年度根室町村議会議長会主催

議員研修会

10月14日(土)別海町にて



仮設建屋内において保存修理
工事中の奥行臼駅通所

(議員)

(瀬波秀人)

別海町教育委員会の戸田博史学芸員による講演では、別海町の歴史をはじめ、特に国指定史跡である「奥行臼駅通所」が現在保存修理工事中で、将来、史跡公園となる構想を聞き、その後、現地視察を行いました。

隣接する簡易軌道跡、旧標津線奥行臼駅も含めた交通遺産は、文化財の保存だけでなく、観光資源として地域活性化につながる管内全体の財産であると理解しました。

常任委員会活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

総務文教 常任委員会

総務部

●町財政の現状について

平成30年度の予算編成方針で、要求基準を前年度当初一般財源総額から7%削減目標とするなどの説明を受けました。

●指定管理者の公募について

来年3月31日で管理期間が終了する「総合文化会館」や「町営体育施設等」の次期指定管理者を公募し、一般財団法人中標津町文化スポーツ振興財団から応募があったとの報告を受けました。

●ふるさと応援制度推進事業について

平成29年度は10月末で1千930万円の寄付がありました。

総務省から返礼品の割合を3割以下にする指示があり、11月で対応済みとのことでした。

ふるさと応援基金の使途見直しでは、3項目の事業としていたのを施策分野型9項目と事業

応援型1項目で全10項目とする説明を受けました。

●議会モニターとの意見交換について

10月12日にモニター会議を開き、10名の委員の内5名に参加してもらいました。

事前に文書で意見を提出してもらい、参加者の話を聞いて意見交換を行いました。

休日・夜間の議会開催や議会報告会の開催方法など、たくさん意見の意見をいただきました。

文書での意見の他に提案や提言もありましたので、日程を調整しながら今後も会議を開きた



参加された議会モニターの皆さん

いと考えています。

委員会開催 10月12日

11月27日

(熊倉 重樹 議員)

厚生 常任委員会

町立病院

●管理運営について

平成29年度4月以降の経営状況についての報告があり、依然として厳しい状況ながらも、入院患者受入数や診療報酬の実績が上向いており、また地域包括ケア担当の内科医師が11月に着任したことなど、改革プランに沿った若干の前進のきざしが見えてきました。

町民生活部

●臨時福祉給付金について

5月から8月まで、テレビなど各種メディアで「確認じゃー」の標語で周知を図り、2千人に対して1人当たり1万5千円が給付されました。

●住民票・印鑑証明書のコンビニ交付について

役場窓口以外にコンビニ端末でのマイナンバーカードによる交付を、平成30年度中に稼働させることになりました。

利便性を改善し、必要経費の縮減が図られます。

これに伴い総合文化会館の端末は廃止されます。

●社会福祉協議会との意見交換について

社協の成年後見・権利擁護センターで担当している6件の事例の実務内容などの説明を受け、職員の方々と意見交換を行いました。



天然温泉を利用した入浴施設

産業建設 常任委員会

経済部

●家畜ふん尿臭気対策について
町内の酪農・畜産業の方々

した。

介護職員の要員不足が深刻であり、待遇改善や、団塊の世代が75歳を迎える2025年問題に備える必要性が語られました。

当日はデイサービスの様子や、天然温泉を利用した施設などを見学しました。

●子育て支援事業について

雨漏りや床面の傾斜が問題となっていた西町のわんぱく児童館については、安全性確認調査のため休館とし、当面は同校区のなかよし児童館で受け入れることになりました。

委員会開催 10月13日

11月8日

(飯島 実議員)



スラリーを飛ばして攪拌している現場

は、かねてから臭気に対しての意識は強く、現在も様々な対策を個人個人で努力していますが、決め手となる手立てが中々見つからず、また全員で取り組みなければ効果も限定的になり、更にコストという大きな壁もあります。

この様な中、JA中標津で試験を実施し効果を上げている事例があると聞いて、委員会として視察してまいりました。

農場で、スラリーを攪拌している現場に集合し(写真)、前日から散布を続けているほ場に行つて目の前で散布して貰いましたが、各委員から「今までの臭気より相当軽減されている」「想像以上だ」「劇的に改善されている」などの感想がありました。

今後も各方面の動向を注視し、この重要課題に取り組んでまいります。

●エゾシカ対策について

5月から9月までのエゾシカ有害駆除実績は、前年比25%減の536頭(雄45%、雌55%)で、うち食肉活用されたのは52頭、ペットフード活用された449頭を合わせると全体の93%が活用されています。

●空港利用促進について

LCJ就航誘致に係る講演会への参加と、利用促進案の提出には議会全体として取り組みました。

●エネルギーの地産地消について

町内6地域にバイオガスパラントを導入するなどの計画

を推進するため、国に申請していた「バイオマス産業都市」に中標津も指定されました。家畜排せつ物を中心に、木質バイオマスも含めた、エネルギーの地産地消に取り組んでいきます。

建設水道部

●中標津町住宅生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画について

将来、公住の戸数を減らしていく計画になっているが、応募倍率が6倍であることを

考えると納得できないという意見がありました。

向こう10年間の計画ですが、中間で見直すことも可能のことです。

●公営住宅建設事業について

泉団地の建替計画について、これまでの44戸から24戸に減少する点や、駐車場の在り方、除雪への配慮などを議論しました。

委員会開催 10月26日

12月1日

(千葉 清正 議員)



牛乳で乾杯の音頭を取る後藤議長

東京中標津会・札幌中標津会

11月18日東京で、12月2日札幌で中標津会が開催され、懇談会の中で、中標津空港に降り立った後の2次交通の充実など、地域振興にかかる貴重な御意見をいただきました。

その後の懇親会では、中標津にゆかりのある企業から景品をたくさん提供していただき、抽選会が行われ楽しいひと時を過ごしました。

(松村 康弘 議員)

平成29年10月から12月までの活動報告					
月日	行 事	出席者	月日	行 事	出席者
10月3日	議会広報特別委員会 阿寒摩周国立公園名称変更記念式典（弟子屈町）	欠 席 1 名 議 長	12月1日	北方領土返還要求アピール行進、 北方領土返還要求中央アピール行動「政府要請」内閣総理大臣・内閣府特命担当大臣・外務大臣（東京都）	議 長
4日	中標津町表彰者選考委員会	総務文教・厚生・産業建設・議運委員長 副議長、病院特別正副委員長		産業建設常任委員会 文化とスポーツのつどい	全 委 員 副 議 長
6日	病院事業経営実務講習会	全 委 員	2日	札幌中標津会総会・懇談会（札幌市）	正副議長、総務文教・産業建設副委員長
10日	議会広報特別委員会	全 委 員	5日	議会広報特別委員会 札幌学院大学との相互協力に関する協定調印式及び記念講演	全 委 員 議 長
11日	議会広報特別委員会	全 委 員	7日	議会運営委員会 病院の近未来を検討する特別委員会	全 委 員 欠 席 1 名
12日	議会モニター会議	正副議長、総務文教委員他3名	8日	根室地方総合開発期成会根室本線花咲線対策特別委員会（根室市）（公社）中標津町シルバー人材センター「親睦と交流の集い」	議 長
13日	厚生常任委員会	全 委 員	11日	中標津町外2町葬斎組合、根室北部消防事務組合、根室北部廃棄物処理広域連合、根室北部衛生組合 各議会定例会	関 係 議 員
14日	根室町村議会議員研修会（別海町）	全 議 員		総務文教常任委員会 厚生常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会 12月定例会本会議（1日目） 全員協議会	全 委 員 全 委 員 全 委 員 全 委 員 全 議 員 全 議 員 全 委 員
18日	岡山県笠岡市議会視察研修	議 長	12日	厚生常任委員会 産業建設常任委員会 総務文教常任委員会 議会運営委員会 12月定例会本会議（2日目）	全 委 員 全 委 員 全 委 員 全 委 員 全 議 員
19日	決算審査特別委員会	全 委 員	13日	議会運営委員会	全 委 員
20日	決算審査特別委員会	全 委 員	14日	12月定例会本会議（2日目）	全 議 員
23日	決算審査特別委員会	全 委 員	15日	議会広報特別委員会 香川県議会視察研修	全 委 員 議 長
24日	決算審査特別委員会	全 委 員	19日	釧路根室地方森林・林業・林産業活性化を促進するための連絡会議役員会（釧路市）	熊倉林活会長
26日	産業建設常任委員会 老人クラブ連合会との懇談	全 委 員 正 副 議 長、 厚生正副委員長 熊倉林活会長 他 1 4 名	20日	議会広報特別委員会	全 委 員
30日	根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会研修会	正副議長、総務文教・厚生・産業建設委員長	22日	根室町村議会議長会臨時総会（羅臼町）	正 副 議 長
11月6日	全町内会連合会との懇談	全 委 員	25日	中標津消防団歳末警戒	議 長
8日	決算審査特別委員会	全 委 員	27日	議会広報特別委員会	全 委 員
11日	厚生常任委員会	全 委 員			
18日	侯落開基100周年記念式典・祝賀会	議 長			
20日	東京中標津会総会・懇親会（東京都）	正副議長、厚生・議運副委員長			
22日	地方自治法施行70周年記念式典（東京都）	副 議 長			
25日	町村議会議長全国大会（東京都） 中標津町表彰式	議 長 議 員			
27日	自衛隊中標津地域事務所開所40周年記念祝賀会	議 長			
28日	総務文教常任委員会 12月定例会議件事前説明	全 委 員 正 副 議 長、 正副議運委員長			
30日	中標津農業高校校内実績発表大会	議 長			